



New

2023年度
New Kirari

VOL. 1

Kirari

『笑顔であいさつ・みんながつながる安全な町』
2023年(令和5年)11月10日発行 発行元 広報部
発行責任者 会長 森本 和人

子どもたちが安心できる「居場所」・大人にとっても「楽しい居場所」

南千里中学校区地域教育協議会は「誰もがいきいきと笑顔になる地域」をめざして活動を行っています。その核となるのは、学校・保護者・地域のみなさんがスクラムを組んで、あらゆる場面や場所で子どもたちが安心できる「居場所」をつくることを目的としています。

そのためには、子どもたちに関わるあらゆる団体や個人の方を連携して地域コミュニティをつくり、それぞれができる活動を通して子どもだけではなく、大人にとっても「楽しい居場所」になることが重要だと考えています。新型コロナウイルス感染拡大による影響は計り知れないものとなりました。特に子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、新しい形での学びや体験の場を考えていかなければなりません。子どもたちと一緒に自分たちのまわりのことや、社会のことに目を向け、私たちに何ができるのかを考え、行動を起こすことが「自発的」で楽しい活動に繋がります。

今後も地域教育協議会の事業活動は、乳幼児から青年に至るまで幅広くとりくみを続けていきます。ぜひ、積極的に参加していただくことで、新たな「出会いや体験」を楽しみましょう。

南千里中学校区地域教育協議会 会長 森本 和人

「総会報告」

南千里中学校区地域教育協議会

2023年6月10日(土)南千里中学校図書室にて、2023年度(令和5年度)総会を開催しました。冒頭、森本会長からの挨拶では、本協議会の目的“子どもの健全育成に関わる団体・機関が連携し、協力・共同して地域社会をあげて、健やかで心豊かな次の世代を担う子どもを育てること”を確認し、地域教育コミュニティ事業について資料に沿って説明もありました。議案はすべて審議ののち、滞りなく可決されました。総会后、各部会を開催し、今年度の事業・

活動について話し合いました。引き続き役員会ではその内容を共有するとともに、各種団体から近況報告を行いました。“F.G.V.div(花と緑と野菜の事業部)”による花壇・畑の見学もありました。今年度も有意義な活動となりますようよろしくお願い申し上げます。



南千里中学校 PTA会長 楠見 和秀

「地域の発展を願って」

2023年度南千里中学校PTA会長の楠見です。長かったコロナ禍もようやく明けて、普段どおりの日常が戻りつつあります。地域の活動も今年から本格的に復活し、様々なイベントに参加させていただいておりますが、子どもたちの笑顔を間近で見ることができる貴重な体験をさせていただき嬉しく思います。また、常に地域を盛り上げようと一丸となって活動に取り組む皆様の姿に深く感銘を受けました。今後とも明るく楽しく過ごせる千里新田地区の発展を願っています。

千里新田小学校 PTA会長 小川 将史

「地域教育協議会にご期待ください！」

パンデミックも落ち着きを見せ、日常生活が元に戻りつつあるなか、地域のイベントや活動も少しずつ再開されてきました。地域教育協議会でも対面の機会が増えましたが、紙面にあるような新しい事業も始まっています。これからは、中学校・小学校・こども園との連携を一層深めて、子どもたちの学校生活や園生活がより良いものになるような活動にも関わることができれば素敵だなと思います。地域教育協議会の活動にご期待ください。



人権講演会 ～パラリンピアンに学ぶ～

7月18日、南千里中学校体育館にて、パラリンピアン竹村明結美さんとお母さんの陽子さんをお招きして、南千里中学校・地域教育協議会・人権啓発推進協議会の共催で人権講演会を開催しました。竹村さんは乳児期の心肺停止による低酸素性能症の後遺症（四肢麻痺、高次脳機能障害）を抱えながらも、目標としていた東京パラリンピック陸上400mの出場を果たしました。講演のテーマは「レジリエンス」＝困難をしなやかに乗り越えて回復する力。まさに、身体のハンディキャップから遭遇した諸々の出来事に、お母さんとの二人三脚で立ち向かい前に進む生き様は、きっと生徒たちの心に響いたことと思います。「現実を変えることはできない。だから、自分が変わる。」障がい者・健常者に関わらず、すべての人にとって大事な言葉だと感じました。



人権啓発推進協議会 千里新田地区委員会 会長 福間 幹芳

Flower, Green&Vegetable Division 花と緑と野菜の事業部プロジェクト



「南千里中学校でスイカを目撃した」との情報を得て南千里中学校に向かったところ、立派なスイカを発見！

これは、南千里中学校区地域教育協議会の新規事業で「Flower, Green&Vegetable Division」略して「F,G,V Div.」と呼び、南千里中学校内にある花壇スペースの一部を活用して、地域教育協議会メンバーのサポートを受けながら、生徒が中心となって野菜や果物の栽培を行うものです。「土いじりをやってみよう！」という南中生の思いに応えた事



業で、野菜や果物の栽培経験を通じて、自分たちが口にしている野菜や果物の栽培にどれほどの手間がかかっているかなど、育てる喜びや楽しさも含めて、学びの場としても取り組んでくれることを期待しています。

このF,G,V Div.プロジェクトの地域メンバーである松山さんは、毎日のように水やりをしたり肥料をやったり、台風が近づくと知れば様子を見に行ったりと生徒たちの頼もしいサポーターです。

松山さんは、毎朝5時には起きていて、千里山西6丁目～千三地区～春日地区などの清掃活動を日課にされています。「綺麗にしたらゴミはほかされない。皆がその気持ちであれば街は綺麗になる。生命ある限り続けていきたい」とおっしゃっていて、この度、地域団体で行っている清掃活動を代表して、大阪府道路協会より表彰状を受け取りました。



千里新田こども園2年目を迎えました！



令和5年度は、くり・あじさい・さくら組、合わせて75名でスタートしました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、クラスや地域との交流を通して、遊びも活発化しています。

3歳児の子供たちの初めてのお散歩は、千里新田小学校の校内探検！1学期の初めに4・5歳と一緒に地域のれんげ畑に散歩に行ったり、5歳児は千里新田小学校の1年生とシャボン玉で遊んだりしました。いろいろな交流が持てることで、年長者へあこがれる気持ちなどが育ってきた子供たちです。

お楽しみ会の一環として、11月に人形劇団「クラルテ」による人形劇を楽しむ予定です！

南千里中学校

こ小中一貫教育

“友だちや地域とともにのびゆく子”
～つながろう、やってみよう、ともに学ぼう～

南千里中学校ブロックでは、千里新田こども園、千里新田小学校、南千里中学校が『地域の子どもは地域で育てる』ことを目標に連携した取組みを進めています。教員の学びの交流として、「学習指導要領に基づく授業展開」に関する研修や道徳示範授業への参加、生徒指導面では日頃からの情報交換により子ども理解を図るとともに、夏休みには本市スクールロイヤーを講師とし、「いじめ事例からよりよい対応を学ぶ」合同研修を実施しました。



その際、校種を交え、本ブロックの子ども像について話し合うことができました。交流行事としては、7月には中学校プールで臨海学習練習を初開催。2学期にはオープンスクール相互参加、6年生の中学校クラブ体験、こども園から小学校へのダンス交流、音楽会リハーサル見学、中学校へのどんぐりの森遠足を、また、中学校教員がこども園にて保育体験を、3学期には6年生の中学校授業体験、生徒会によるオリエンテーションを予定しています。取組みについては、学校HPに新設した“小中一貫ブログ”で発信していきます。

千里新田小のあれこれ ～afterコロナの学校生活～

これまでに経験したことのない脅威に対応せざるをえなかった3年間で、学校生活は大きく方向転換していくこととなりました。今号では小学校で「こんなことが変わったよ!」ということをお知らせします。



【全校集会】



これまでなら、運動場や体育館で全員が集まってお話を聞くことを主に実施していました。コロナ禍では、一度に大人数で集まることができず、全校で集まることは屋内外を問わずできませんでした。そこで大活用できたのが、教室のICT環境。各教室に標準装備となった天井吊りのプロジェクタと校内LAN環境を活用して、ZOOMによる配信での集会が可能になりました。最近では暑さ対策として配信の集会を行ったこともあります。とはいえ、緊急時を想定した避難訓練など、全校で集まらなければならないとき、並び方や集合方法がわからないのは困るので、集合型の集会も並行で実施しています。



は暑さ対策として配信の集会を行ったこともあります。とはいえ、緊急時を想定した避難訓練など、全校で集まらなければならないとき、並び方や集合方法がわからないのは困るので、集合型の集会も並行で実施しています。

【みんな楽しみ給食Time】



コロナ禍では、分散登校や簡易給食なども経験しました。配食用具を共用しないよう給食当番ができなかった期間や黙って食べることも必要だった時期もありましたが、今では衛生管理に気を付けながら以前のように給食当番も「しています。まだまだ配慮を必要とする事柄もあって、本校ではコロナ前のように机を向き合わせて食べる形にはしていませんが、みんなで楽しく、おいしく給食Timeを送ることができています。いっぱい食べて大きくなってね。

【学校もデジタル化進んでいます】

今年度4月より、お子様の欠席連絡などをアプリの入力でお知らせいただけるシステムが全市で導入されました。また2学期より毎月の給食献立表も紙媒体での印刷が廃止され、データ配信となりました。本校でも今後お便り等のデジタル配信も試行していくことを検討していきたいと考えています。



こどもプラザ事業



吹田市では、“地域の子どもは地域で守り育てる”の視点に立ち、フレンドさん（地域ボランティア）の見守りの中、小学校の運動場や特別教室を活用して、子供たちが安心して安全に過ごせる居場所づくりを提供する、こどもプラザ事業『太陽の広場』を実施しています。

千里新田小学校の「太陽の広場」は、吹田市内のモデル校として2003年にスタートし、20年間、水曜日の放課後の子供たちの活動を見守り続けています。

この間、自然災害や不審者、病気の流行等、様々なことが起こりましたが、常に学校や教育委員会と連携し、その都度、適切な指導・助言を得ながら、安全な「太陽の広場」を開催しています。



三者で連絡会議を開催！



放課後の子供たちの居場所を共有している「太陽の広場」と学童保育の「つばめ学級」、そして、今年度スタートした4年生対象の「キッズスクエア」の三者で常に情報交換をし、共に子供たちの見守りを行っています。毎学期、この三者に校長先生・教頭先生、教育委員会青少年室の担当者も参加しての連絡会議を開催し、『千新っ子』が元気に安全に過ごせる居場所の確保に努めています。

テーマは「海」



太陽の広場では、自由に遊んだり、宿題をしたり…と、何をして過ごすかは自分で決めますが、みんなと一緒に工作をすることもあります。7月には、千新小夏祭りの「こども御輿」の飾り作りを楽しみました。こども会議で決まった御輿のテーマは「海」 高学年が作る作品にヒントをもらいながら、低学年の児童も次々と海の生き物を作り出していました。



吹田市立

千里山竹園児童センター

指定管理者 吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会



児童センターでは、「いつでも誰でも集える子ども達の居場所」として以前の賑わいや活気が戻りつつあります。毎日の「あそび」や行事では子ども達の興味や「もっとやりたい」という気持ちを大切にしながら、みんなと一緒に遊ぶことを楽しむとともに「仲間づくり」にも取り組んでいます。



また、幼児教室ではクラスを再編し登録制の「うきうき」「どきどき」のクラスを新たに設け、「来てよかった」と思える親子のふれあいの場づくりを進めています。9月からは新たに2名の職員も加わりました。

今後も、みなさんが安心・安全に児童センターでの時間を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

千里山竹園児童センター 館長 金尾 博之

【千新 青色防犯パトロール隊】

小学校の登下校の時間帯に青色ライトを点滅させながら二人一組でパトロールをしています。



運転手さん募集中！

一緒に運転・パトロールしませんか！
事務局 大野和之 携帯:090-5898-0743

